

個人投資家向け会社説明資料

加賀電子株式会社<プライム市場 8154>

上席執行役員 管理本部長
石原 康広

2024年9月14日

KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

目次

● 会社プロフィール	P- 3 ~ 10
● 中期経営計画 2024	P-12 ~ 14
● 電子部品事業について	P-16 ~ 18
● EMS事業について	P-20 ~ 28
● サステナビリティ中長期経営計画	P-30 ~ 34
● 2024年3月期 決算概要	P-36 ~ 51
● 最後に	P-53 ~ 54

会社プロフィール

独立系、ワンストップサービスのエレクトロニクス総合商社

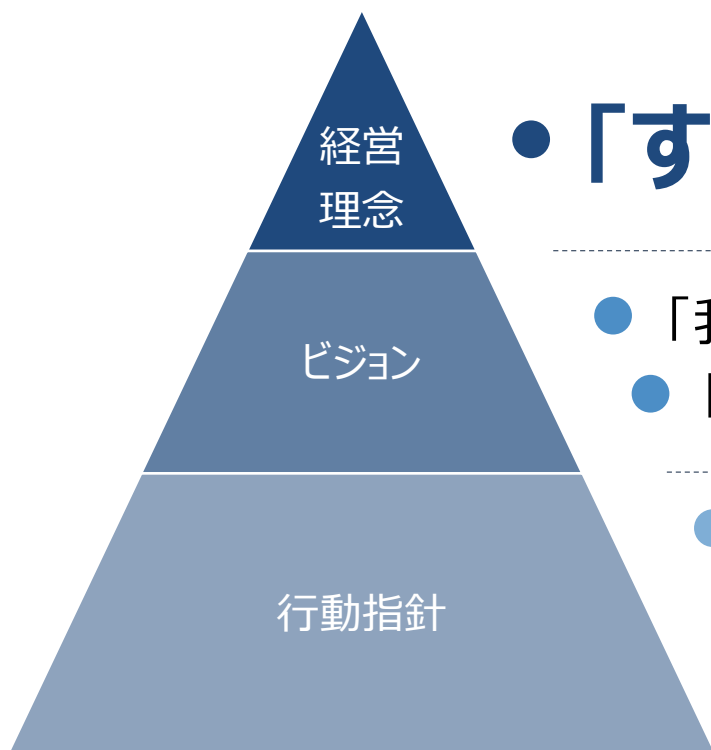
- 会社名 加賀電子株式会社
- 代表者
代表取締役 会長執行役員 塚本 勲
代表取締役 社長執行役員 門 良一
- 本社所在地 東京都千代田区神田松永町20番地
- 設立 1968年（昭和43年）9月12日
- 資本金 121億33百万円
- 上場市場 東証 プライム市場（証券コード：8154）
- グループ会社数 66社（2024年4月1日現在）
- 連結従業員数 8,021名（2024年3月31日現在）



創業者・
代表取締役 会長執行役員
塚本 勲

代表取締役 社長執行役員
門 良一

「すべてはお客様のために」—加賀電子は創業以来、お客様の声をとことん聞き、お客様のご要望にひたすら応えていくことで、電子部品や半導体のキッティングから加工・製造へと展開したEMSビジネス、そして完成品の販売を行う情報機器ビジネスへと事業領域を拡大してきました。これからも、「我が国業界No.1の企業」そして「グローバル競争に勝ち残る企業」を目指し、果敢に挑戦し続けてまいります。



●「すべてはお客様のために」

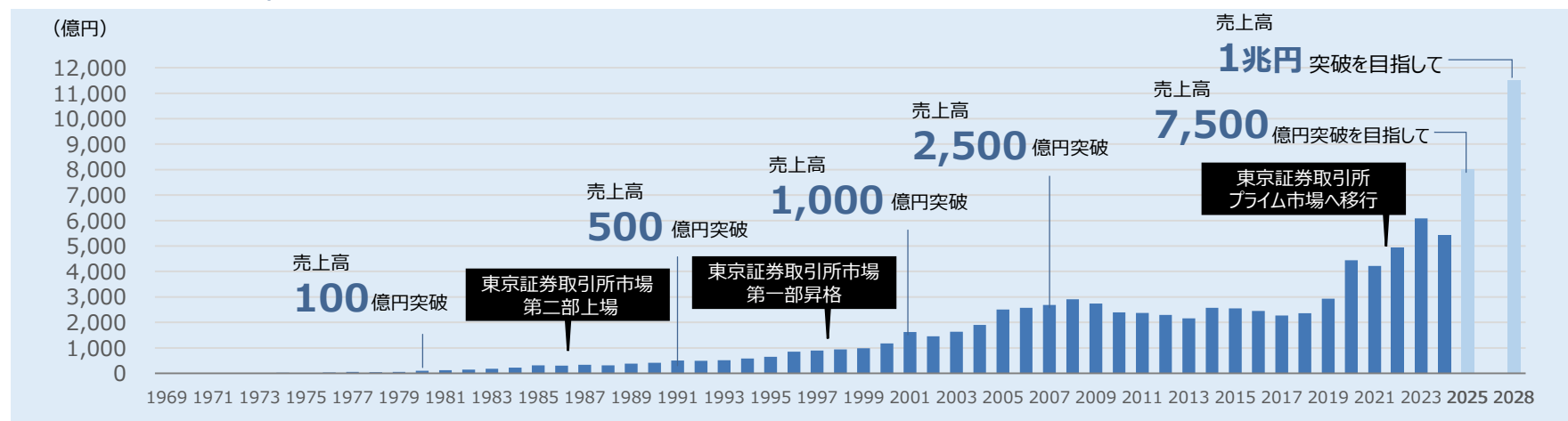
- 「我が国業界No.1企業を目指す」
 - 「グローバル競争に勝ち残る企業を目指す」
-
- 「F.Y.T.」: 変化に柔軟に、常に若々しく、果敢に挑戦
 - 「3G」: あらゆるものを、グローバルに、総合力を活かして
 - 「加賀イズム」: 経営マインド、営業マインド、社会人としての心構え

会社設立以来、創業者や諸先輩の経験に裏打ちされた宝とも言うべき数多くの『語録』。
日々の競争を勝ち抜いていくための我々の行動の『拠り所』として、将来にわたって継承されるDNA。

加賀イズムの3本柱	基本精神
1. 経営マインド 「全員が経営者」であるという意識をもった行動	1-1. 壮大な夢と強い想いをもった経営者たれ
	1-2. ハングリー精神をもってチャレンジし続ける
	1-3. 強い想いをもって、まずは行動
2. 営業マインド 「商社マン・ビジネスマン」としてもつべき意識と行動	2-1. TAXAN努力し、TAXAN儲けてTAXAN幸せになる
	2-2. 人脈は無形の財産
	2-3. 常に、旺盛な好奇心を持ち続ける
3. 社会人としての心構え 社会人として仕事を進める上での意識と行動	3-1. 自己研鑽
	3-2. 信賞必罰
	3-3. 公明正大

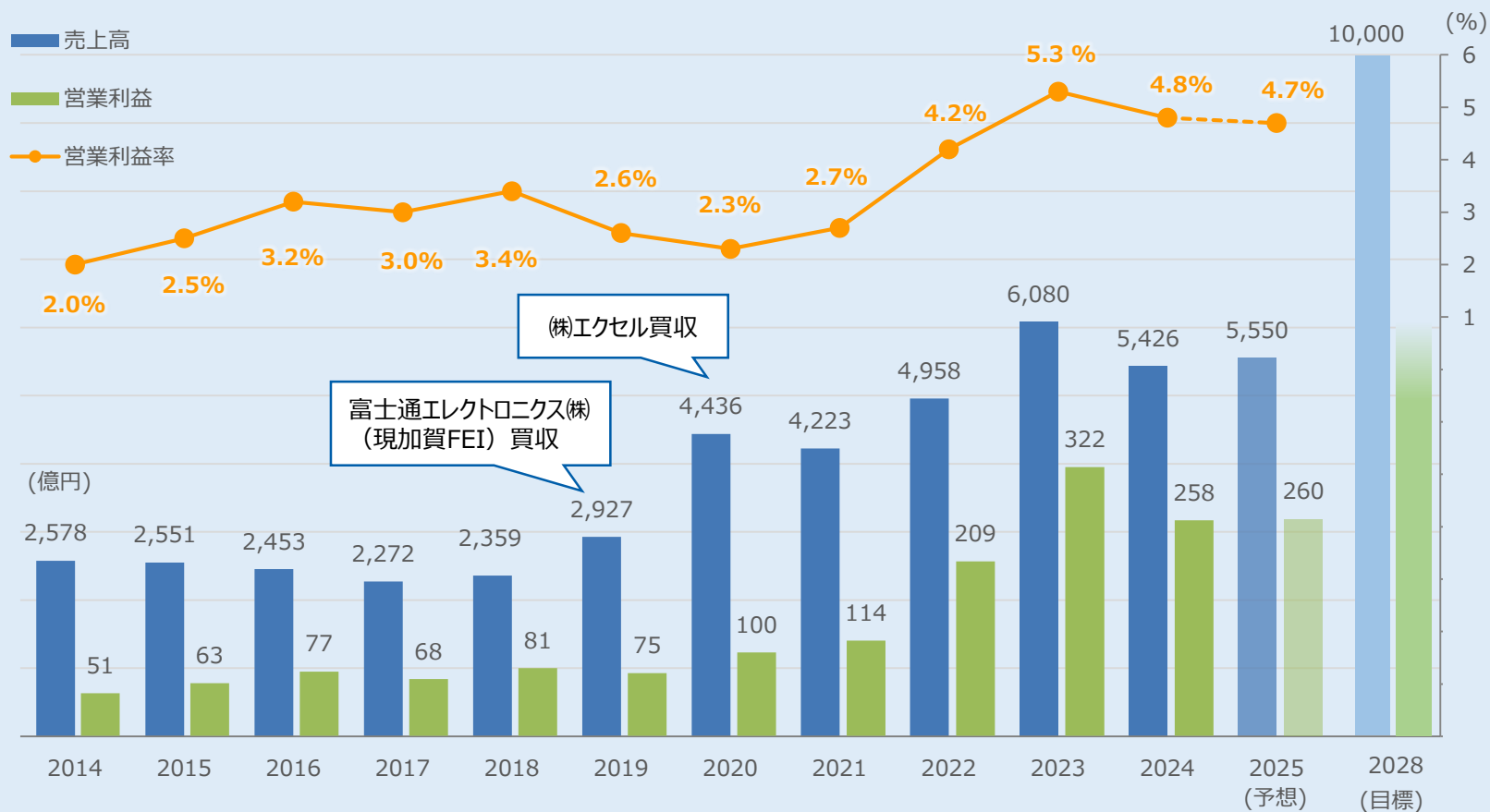
新技術。新製品。つねに時代の声に耳を傾ける。 エレクトロニクス業界とともに、私たちは成長してきました。

成長を続ける加賀電子の推進力は、時代の変化をいち早く察知する鋭敏な能力です。その力は、技術革新が加速する時代にあって、エレクトロニクスの分野で着実な成長を遂げてきました。また、近年では新規事業への取り組みも積極的に展開しています。長年にわたって培ってきた情報収集力と販売網をベースに、既存の事業にとらわれない自由な発想により、無限の可能性に向かって進化を続けています。



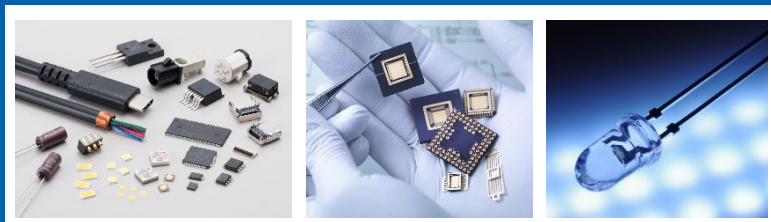
直近10年の業績推移

2014年以降、「利益重視の経営」をグループに徹底し、営業利益および営業利益率を改善。
2019年からはM&Aを積極展開し、成長路線へシフト。持続的な収益拡大を目指します。



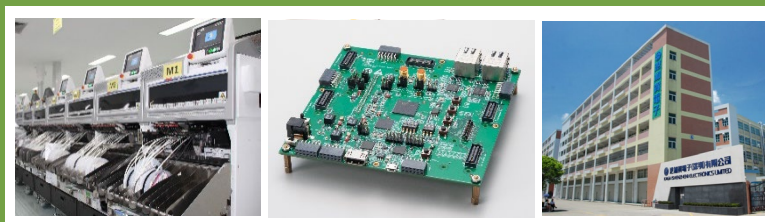
加賀電子グループの強み-①：総合力（事業領域）

電子部品・半導体ビジネス



国内外のお客様へ、一般電子部品・半導体等の販売代理店活動

EMSビジネス



完成品から半完成品まで設計開発製造のトータルサポートを実施

情報機器ビジネス



PCや周辺機器を国内外の流通チャネルに供給、及びネットワークソリューション分野への対応

ニュービジネス



アミューズメントに関する製品・ソフト開発及び製造販売およびゴルフ用品販売事業ほか

売上構成比

66.5%

22.2%

8.2%

3.2%

加賀電子グループの強み-②：グローバル

10ヶ国/21拠点に展開するEMSグローバル生産体制で、顧客ニーズに迅速且つ柔軟に対応します。

- 製造：深圳、上海、蘇州、湖北
- 営業：香港、上海、大連

中国

- 製造：チェコ、トルコ
- 営業：ドイツ

欧州

- 製造：十和田、山形、福島、新潟、東京、鳥取
- 営業：東京、名古屋、大阪、など

日本

- 製造：メキシコ
- 営業：サンノゼ、シカゴ、ボストン、ロサンゼルス

米州

● 営業拠点 ● 製造拠点

アジア・アセアン

- 製造：タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド
- 営業：韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、インド

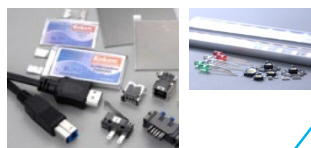
加賀電子グループの強み-③：ワンストップ

製造受託に留まらず、**企画・開発から販売・販売後サポートまでワンストップ**で対応します。

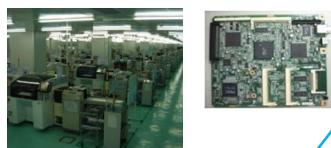
企画・開発・設計



部品調達・キitting



EMS・製造受託



販売・ディストリビューション



サポート・アフターサービス



加賀電子

加賀デバイス

加賀マイクロソリューション

加賀ソルネット

加賀テクノサービス

加賀アミューズメント

イー・ディーデバイス

加賀アミューズメント

デジタル・メディア・ラボ

加賀テック

加賀スポーツ

エクセル

エクセル

加賀EMS十和田 / 旭東電気

加賀エアロシステム

加賀FEI

KAGA FEI AMERICA

KAGA (台湾)
KAGA FEI (大連)

TAXAN MEXICO

KAGA COMP(MALAYSIA)

加賀電子 (上海) / KAGA (H.K.)

KAGA (THAILAND)/KAGA(VIETNAM)

KAGA (SINGAPORE)

KAGA (INDIA)

KD TEC (チェコ) 、 KD TEC Turkey (トルコ)

中期経営計画2024 (2022 - 2024)

『中期経営計画2024』：サマリー



『中期経営計画2024』 経営目標の進捗状況

- 当社は21年11月、3カ年計画『中期経営計画 2024』を策定、計画初年度となる23年3月期において、新規M&Aを除き、「売上高」「営業利益」並びに「ROE」の全てのKPIにつき最終年度(25年3月期)の経営目標を達成。初年度の実績を踏まえ、「最新見通し」として最終年度の業績見通しをアップデート。
- 今般公表の25年3月期業績予想は、想定外の在庫調整の長期化や賃上げの影響もあり、「最新見通し」とは乖離あり。よって、業績予想は「コミットメント」として、最新見通しは「チャレンジ目標」として位置づけ、最終年度の総仕上げに取り組む。

	経営目標 当初計画 2021/11/25公表	初年度 実績 2023/3期	経営目標 最新見通し 2023/5/11公表	2年目 実績 2024/3期	最終年度 業績予想 2025/3期
売上高	7,500億円 6,000億円: 自律成長 1,500億円: 新規M&A	6,080億円	変更なし	5,426億円	5,550億円
営業利益	200億円	322億円	300億円以上	258億円	260億円
ROE	安定的に 8.5%以上	19.6%	安定的に 10%以上	14.5%	11.5%

『中期経営計画2024』 経営施策の進捗状況

- 基本方針に沿って重点課題に取り組み、概ね当初の目標を達成の見込み

	重点課題	主な成果	評価
更なる収益力の強化	・成長分野への選択と集中 ・EMSビジネス、海外ビジネスの強化・拡大	・メキシコ新工場始動（24年4月）	○
経営基盤の強化	・コーポレートガバナンスの強化 ・効率的なグループ経営 ・人的資本への投資	・男性育児目的特別休暇制度を新設、73.7%利用（24/3期） ・グループ横断的に賃上げを決定（24年3月）	○
新規事業の創出	・新規分野への取り組み ・ベンチャー投資によるオープンイノベーション推進	・CVCを活用したベンチャー企業に対する出資（23/3期 5件、24/3期 1件）	△
SDGs経営の推進	※別途、「サステナビリティ中長期経営計画の進捗」にて説明		

加賀電子グループの 電子部品事業について

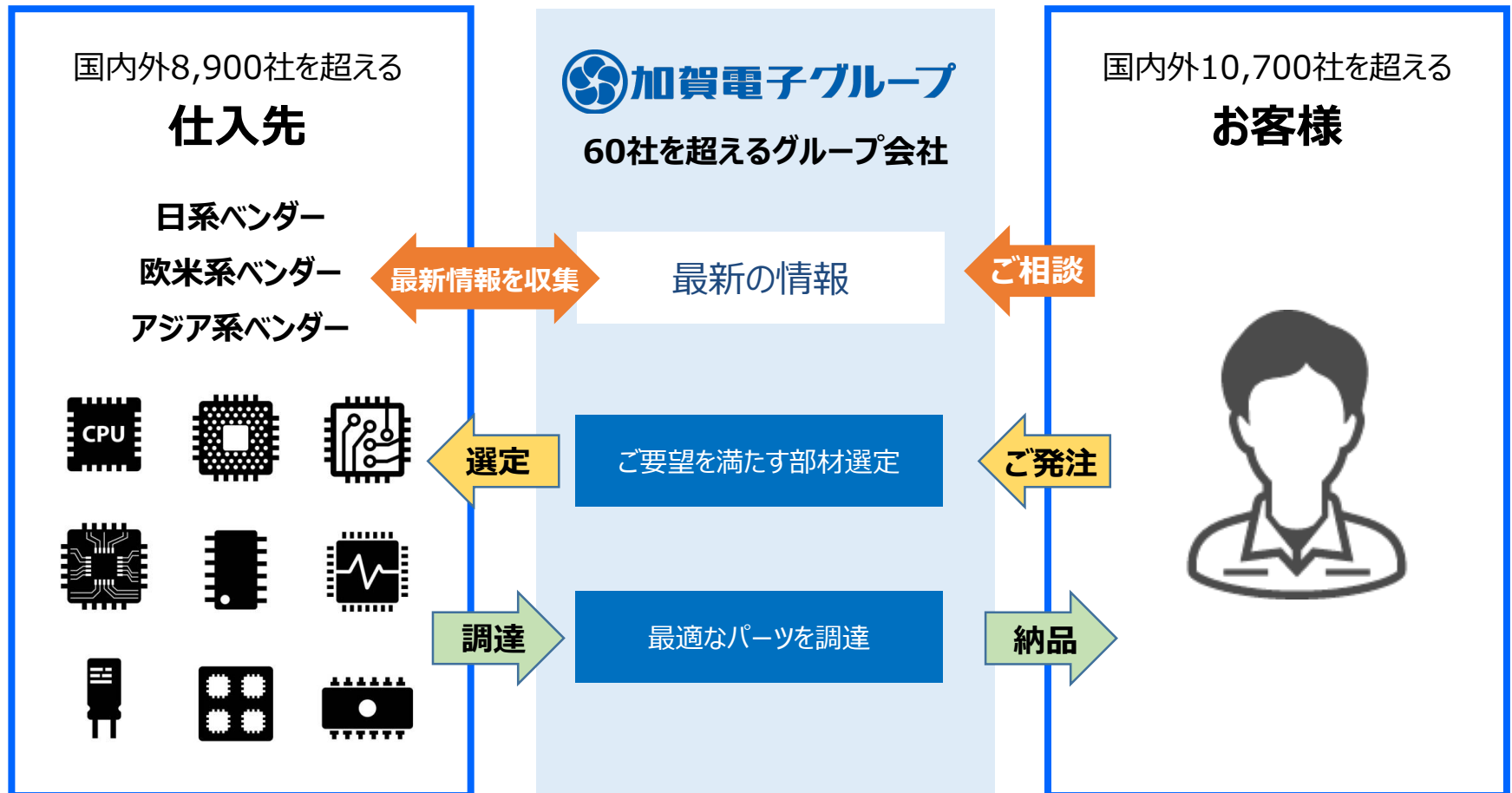
加賀電子の電子部品事業の強み

どのメーカーにも属さない「独立性」、世界中に展開する「グローバル性」、技術者チームの「専門性」が強みです。

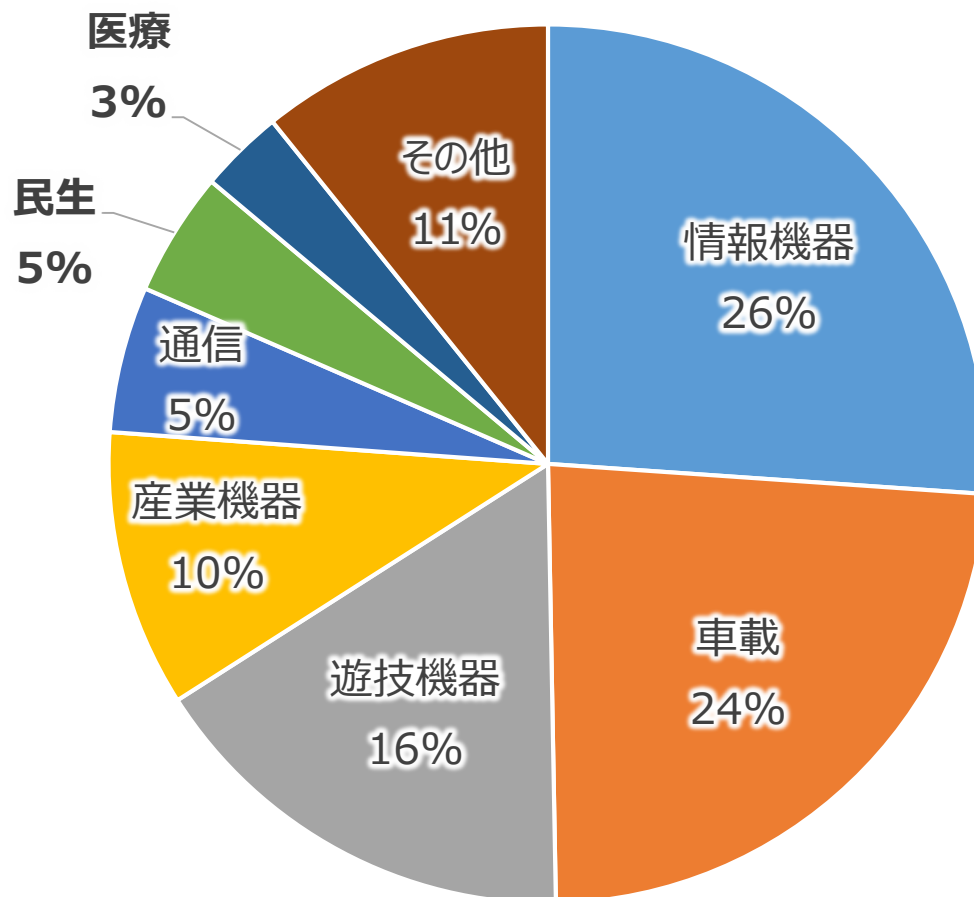
独立系の アドバンテージ	独立系商社だからできる調達力、 50年培った信頼とノウハウ。	- 加賀電子の仕入先は国内外8,900社、お客様は10,700社を超え、直接取引しています。 - 取り扱い商材に制限がない独立系商社の強みを活かし、世界中の仕入先とお客様を結びつけ、最良の品を最適な形で提供します。
グローバル ネットワーク力	時代を先読みする情報収集力、 多彩な領域のグループ力を駆使。	- 北米、欧州、アジアなど、世界各地に60社を超えるグループ会社のネットワークを活かし、最新の知見、情報もいち早く収集し、お届けします。 - 現地法人によるサポート体制も万全。ご希望の地域でご要望にお応えします。
テクニカルサポート 体制	経験豊富な技術者チームに任せる。 信頼から生まれる万全の体制。	- 最新技術に精通したFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）が、実績に裏打ちされた信頼とともに最適な製品をご提供します。 - 情報の少ない最先端のベンチャー商品も徹底した技術サポートで安心してご利用いただけます。

電子部品事業のビジネスフロー

グループネットワークを活用した最先端の情報網・部材調達体制で、お客様に最適な解決策をお届けします。



売上高：3,607億円



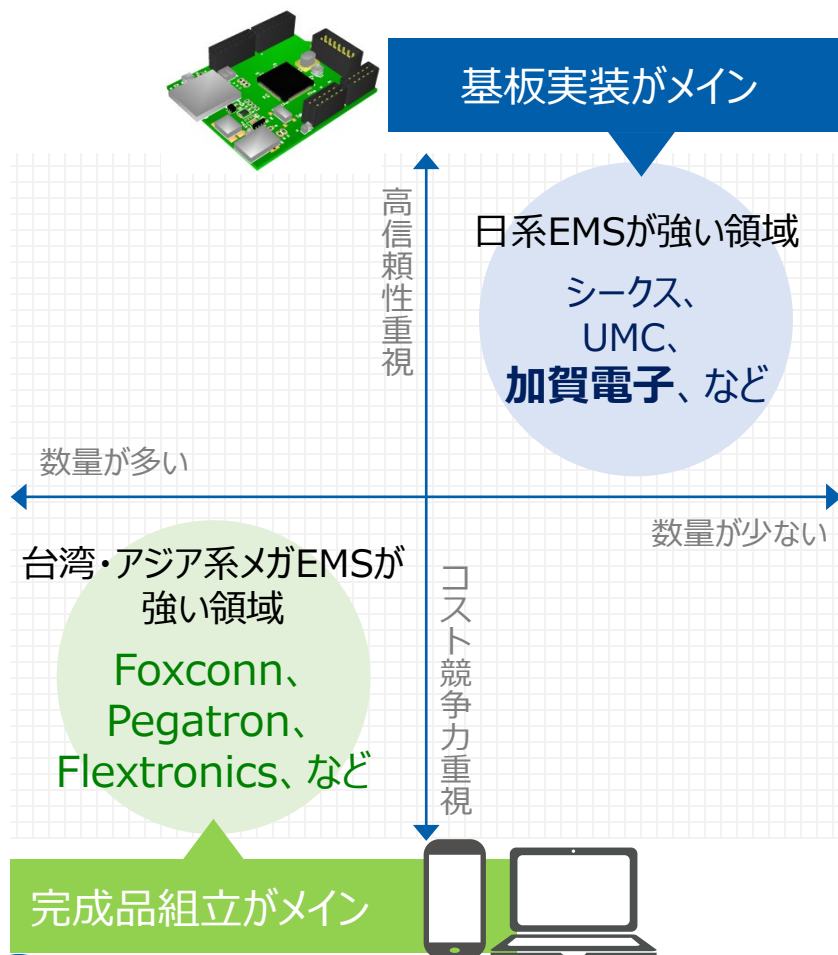
2024年3月期

EMS事業について

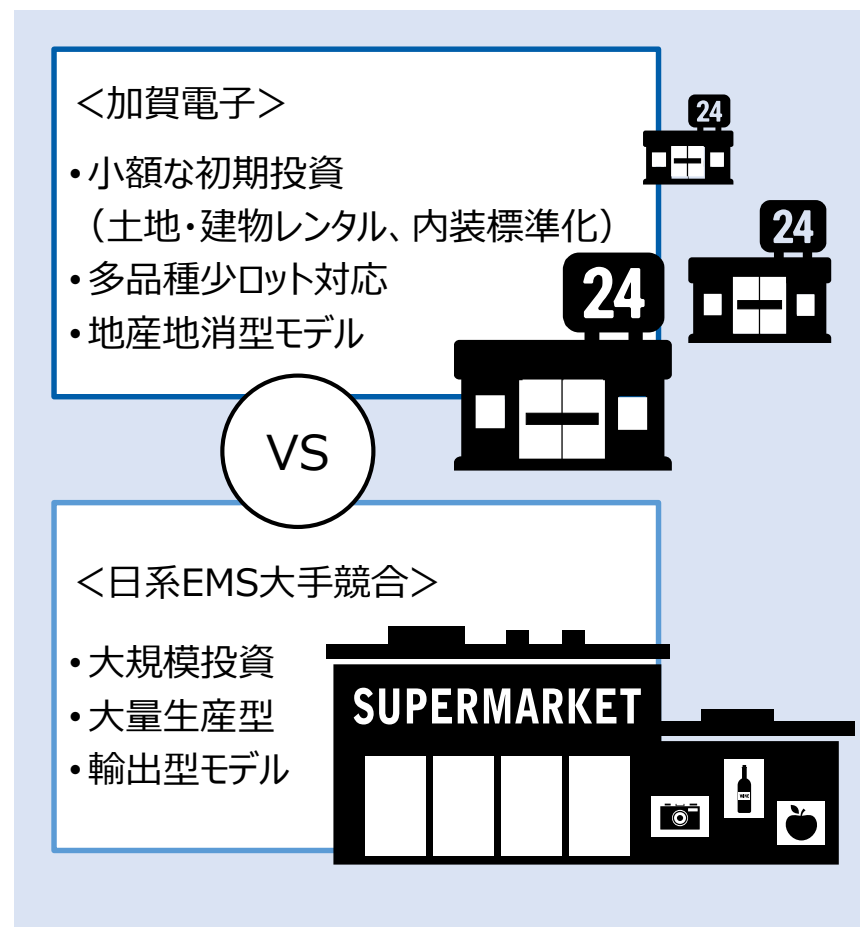
加賀電子のEMS事業の強み

加賀電子はお客様にとって便利で価値ある「コンビニ型EMS」をグローバルに展開しています。

日系EMS vs 台湾・アジア系EMS



コンビニ型EMS vs GMS型EMS



主要生産拠点のご紹介

中国をはじめアセアンや欧州、さらには米州まで、グローバルに展開する生産工場を活用し、お客様のご希望に合わせた地域で生産できる体制を整えています。製品の設計開発をはじめ、多品種少量生産、半完成品から完成品まで柔軟に対応できるトータルサポート体制を実現しています。

中国：港加賀電子（深圳）有限公司



概要

設立：1999年
従業員数：998名

生産品目

車載関連製品、産業
機器、事務機器、
アミューズメント機器、
通信機器

アセアン：KAGA ELECTRONICS(THAILAND)



概要

設立：2002年
従業員数：979名

生産品目

車載関連製品、事務
機器、空調機器、産
業機器

米州：TAXAN MEXICO



概要

設立：2017年
従業員数：478名

生産品目

車載関連製品、事務
機器、産業機器

欧州：KD TEC TURKEY



概要

設立：2023年
従業員数：163名

生産品目

空調機器向け電装ユ
ニットの組み立ておよび
電動工具、車載機器
向け製品の基板実装

EMSビジネス拡大に向けメキシコ新工場始動

- 2024年4月、当初予定通りメキシコ新工場が操業開始。
- 今後ますます増大が見込まれる北米市場ならびに中南米市場向け生産需要に対応し、5年後には「売上高500億円」を目指す。
- メキシコ新工場の隣接区画に完成品組立工場『TAXAN-SWE MEXICO』を新設。
メキシコにて、基板実装に加えて部品成型・板金加工を含めた「一貫生産体制」を確立する。

TAXAN MEXICO S.A. DE C.V.



新工場概要

所在地 : サンルイスポトシ州 アロヨス
ミレニウム工業団地
従業員数 : 700人（操業開始時点）
敷地面積 : 80,000㎡
建屋面積 : 20,000㎡
投資予定額 : 5年で約50億円
（土地、建物取得費含む）

主な生産品目

車載用照明ユニット組立て、
空調機器用電装基板組立て、など

操業開始

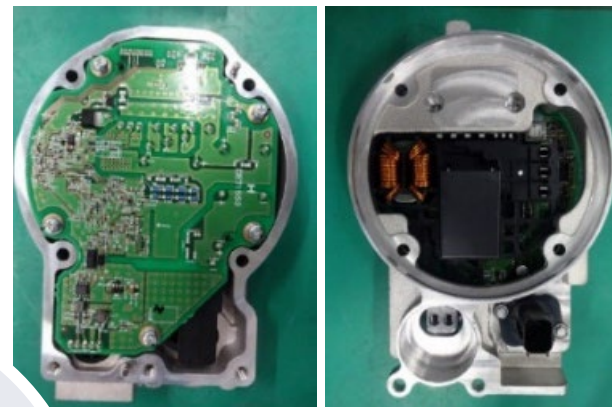
2024年4月

主な生産品目：車載関連

ACインバータユニット



電動コンプレッサーユニット



車載用照明ユニット



カーナビゲーション



主な生産品目：空調、産業、医療、事務機器関連

空調関連機器



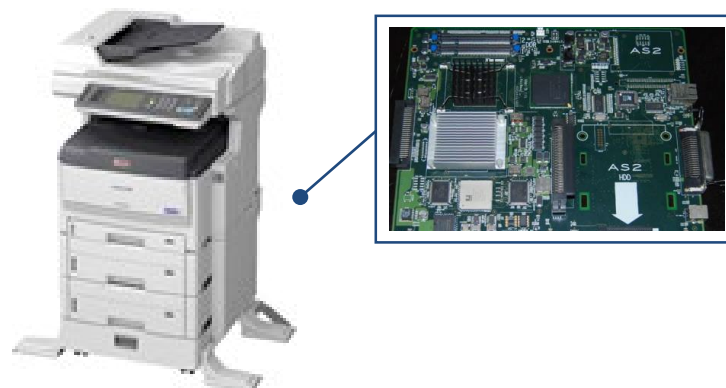
電動工具関連製品



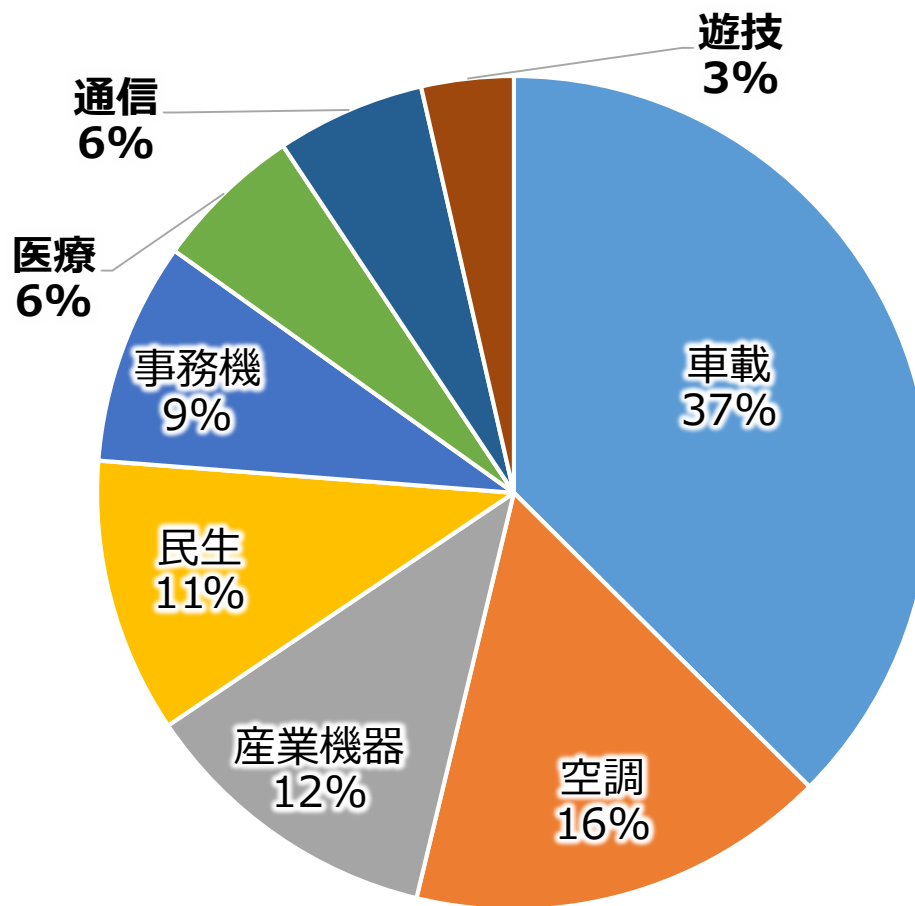
医療機器ユニット（薬保管キャビネット）



事務機器



売上高: 1,204億円



2024年3月期

EMS事業の競争力強化策-①：生産能力の増強

米中貿易問題長期化に伴う“中国からの生産移管”の動き、為替変動や人件費高騰を回避する製造業の“国内生産回帰”の動きのほか、お客様からの増産要望に柔軟且つ機動的に対応します。

福島新工場



事業内容

通信機器、PCおよび
PC周辺機器の製造、
修理、リユース・リサイ
クル

稼働時期

2019年10月

タイ第2工場



事業内容

複合機、プリンタ、車
載関連製品の基板
実装

稼働時期

2019年12月

マレーシア工場（工場移転・拡張）



事業内容

各種電源製品の製
造ならびに衛生機
器・産業機器・民生
機器向け製品の基
板実装

稼働時期

2022年10月

トルコ工場（工場移転・拡張）



事業内容

空調機器向け電装
ユニットの組み立てお
よび電動工具、車載
機器向け製品の基
板実装

稼働時期

2023年6月

EMS事業の競争力強化策-②：ものづくり力の強化

十和田パイオニア(株)（現加賀EMS十和田）買収により、エレクトロニクス専門メーカーとして長年培ってきた同社の「ものづくり」のノウハウ、優秀な生産系人財と生産設備、治具設計、品質保証体系など有形無形の資産を共有することで、EMS事業の品質レベルの一層の向上、競合他社との競争優位性を強化します。そして、同社をEMS事業の“マザー工場”と位置付け、海外拠点との連携、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を図ります。

加賀EMS十和田



工場概要

本 社：青森県十和田市元町東一丁目15-1

従業員数：195名

【第1工場】

敷地面積 22,363m²

建屋面積 10,719m²

【第2工場】

敷地面積 7,201m²

建屋面積 2,545m²

主な生産品目

電子基板の実装、電子機器の組立・検査

- ◆車載関連
- ◆医療機器関連
- ◆民生・産業機器関連、食品加工機器関連、他

買収時期

2019年10月

EMS事業の競争力強化策-③：製造設備の自社開発

中国の大手設備メーカーと合併で、製造設備の開発/設計/製造を行うことで、圧倒的なコスト競争力に加えて、高品質で高信頼性な基板実装のトータルソリューションをお客様にご提供します。

HATTEN設備ご紹介



① 局部半田槽

■ 製品群

- ①1ヘッド機 ISF-300
- ②2ヘッド機 ISF-450-II
- ③4ヘッド機 ISF-450D
- ④4ヘッド機 ISF450-4H
局部半田槽高速版
- ⑤局部フラックス塗布機



② 表面実装機

■ 製品群

- ①CPM H2
チップ部品実装
- ②CPM F2
異形部品実装
- ③CPM/FH
小型チップ部品実装
- ④HATTENライン
※加賀路遠量産中



③ 検査機

■ 製品群

- ①3D SPI
クリーム半田測定
- ②SMT後AOI機
実装部品外観検査
- ③半田槽前S-AOI
手差し部品検査
- ④半田槽後AOI
半田上がり検査
部品浮き検査



④ 垂直高温炉

■ 製品群

- ①Coating硬化炉
Coating後完全硬化
- ②Potting硬化炉
Potting後完全硬化
- ③高温老化試験炉
完成品高温老化試験



サステナビリティ中長期経営計画

(2021年11月25日公表資料より抜粋)



加賀電子グループは、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「持続的なグループの成長」の両立を目指します。

その取り組みにあたっては、「CSR基本方針」「環境方針」ならびに「行動規範」に基づき、お客様、取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上を目指します。

① 事業活動を通じて環境課題に取り組みます

事業活動を通じて、CO²排出量の削減、廃棄物の削減と再利用の推進に取り組むとともに、環境に配慮した製品およびサービスを提供することで、地球環境を大切にする社会の実現に貢献します。

② 人権を尊重し、人財を育成します

性別や年齢、国籍や社会的身分、障がいの有無など個人の属性に関係なく、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。また、多様な従業員が心身ともに安全且つ健康に働ける職場環境や個々の能力を最大限発揮できる人事制度・教育研修体系を整備し、イノベーションに挑戦する人財づくりに取り組みます。

③ 社会との相互信頼の確立を目指します

法令や規則を遵守し、公正な競争、高品質な製品およびサービスの提供、適時適切な情報開示など、誠実な企業活動を実践するとともに、ガバナンス体制の強化を図ることで社会から信頼される企業を目指します。

マテリアリティ（重要課題）の特定

加賀電子グループは、世界および当社が直面するさまざまな課題や社会からの要請に真摯に向き合い、「E：環境」「S：社会」「G：ガバナンス」ならびに「B：事業」の4つの観点から、当社の経営にとってインパクトの大きい重要課題を以下の通り特定しました。これらのマテリアリティの取組みを通じて、持続可能な社会の実現に寄与する企業活動を実践し、さらなる企業価値の向上を推進していきます。

	マテリアリティ	関連するSDGs	経済・社会情勢の変化	取組み課題
E	クリーンな地球環境を作る	 	● 地球温暖化・環境問題の深刻化 ● カーボンニュートラルへの要請	● 環境・エネルギー問題に貢献する製品およびサービスの提供 ● 環境負荷低減に向けた取り組みの継続
S	働きやすい会社、豊かな社会を作る	  	● ニューノーマルに向けた社会構造の変化 ● 少子高齢化による人材の逼迫	● ニューノーマルに相応しいダイバーシティおよび働き方の促進 ● 加賀イズムの継承・発展による人財育成
G	持続可能な経営基盤を作る	 	● コーポレートガバナンス強化への要請 ● 環境変化に耐えうるレジリエンスの実現	● ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化 ● 利益重視経営の徹底
B	持続的な事業成長を実現する	  	● デジタルトランスフォーメーションの進展 ● IoT・AIなどICTの普及による超スマート社会の到来 ● グローバル競争の激化	● デジタル化社会に貢献する製品およびサービスの提供 ● 社会課題解決に貢献する新規事業創出 ● グローバル展開のさらなる促進

サステナビリティ中長期目標と主なKPI

	主なテーマ	取組み課題・検討課題	中期目標	長期目標
E	再生可能エネルギー 100%化の実現	● 国内営業拠点における再エネ導入	2024年:40% (1%)	2030年:100%
		● 国内製造拠点における再エネ導入	~2024年:情報収集・ 分析及び方針決定	2030年: 50% 2050年:100%
		● 海外製造拠点における再エネ導入	・自家発電/外部調達 ・太陽光パネル/バイオマ ス発電/再エネ事業者	2030年: 30% 2050年:100%
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、 FCV)への切り替え	2024年:85% (78.5%)	2030年:100%
S	ダイバーシティと 人財マネジメント	● 中核人財の多様性確保 (女性、外国人、中途採用) ● 高齢者・障がい者雇用の取り組み	<女性新卒総合職比率> 2023年:30% (5.8%) <女性管理職比率> 2024年:15% (13.3%)	<女性新卒総合職比率> 2028年:40% <女性管理職比率> 2029年:17%
	「ワークライフ・マネジメ ント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど各種制度拡充 ● 健康経営優良法人の認定取得	2022年:各種制度拡充 2023年:認定取得	2025年:外部認定取得 2024年~認定継続
G	CGコード改訂・東証 再編に対応した ガバナンス体制の 再構築	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置	2021年6月実施済み	次期CGコード改訂に 応じて目標設定
		● 取締役会の多様化	~2022年6月:方針決定	
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	2021年11月実施済み	
	経営の監督機能・ 執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入 ● 「委員会等設置会社」への移行	2022年4月:施行 ~2023年3月:方針決定	

サステナビリティ中長期経営計画の進捗状況

	主なテーマ	取組み課題・検討課題	2023年度までの主な活動・進捗状況
E	再生可能エネルギー 100%化の実現	● 国内営業拠点における再エネ導入	①再エネ由来電力は全体電力量の5.1%で導入済。 ②「24年40%再エネ化」の目標達成に向けて、非化石 証書購入を決定。併せて、24年度において温室効果ガス 排出量定量化および削減目標設定を決定。
		● 国内製造拠点における再エネ導入	十和田工場(23年12月)、福島事業所(24年2月)で 太陽光発電設備を導入。
		● 海外製造拠点における再エネ導入	中国(湖北)、ベトナム、マレーシア、メキシコ新工場にて 太陽光パネルを設置。
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、 FCV)への切り替え	電動車化比率は前年度比3.0pt増の85.0%(24年3 月末)。
S	ダイバーシティと 人財マネジメント	● 中核人財の多様性確保 (女性、外国人、中途採用)	■ 女性新卒総合職比率は、「行動計画」に沿った採用活 動を実施。 【2023年度】新卒採用総合職23人中、女性5名。前年 度比3.6pt増の21.7%に拡大も、目標30%に届かず。
		● 障がい者雇用の取り組み	■ 女性管理職比率向上に関しグループ内で協議、各社 ごとに女性管理職員数の目標人数を設定。 【2023年度】前年度比0.9pt増の17.4%。 【2022年度、2023年度】法定雇用率100%。
	「ワークライフ・マネジメ ント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど 各種制度拡充 ● 健康経営優良法人の認定取得	テレワークを恒常的な制度とし23年4月より新ルールの運 用開始。 【2023年度】24年3月、2年連続で認定取得。

サステナビリティ中長期経営計画の進捗状況

	主なテーマ	取組み課題・検討課題	2023年度までの主な活動・進捗状況
G	CGコード改訂・東証再編に対応したガバナンス体制の再構築	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置と運営	指名・報酬委員会を2021年6月に設置。23年6月株主総会にて取締役6名（うち 社外取締役3名）体制を決議。
		● 取締役会の多様化	2023年6月株主総会にて女性社外監査役を選任。24年6月株主総会での女性取締役選任は見送り。
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	2022年6月より実施。
	経営の監督機能・執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入	22年4月より施行開始。24年4月よりグループ経営本部会議の構成員を委任型執行役員へ拡大し運用開始。
		● 「委員会等設置会社」への移行	監査役設置会社を継続とするも、2023年6月に取締役任期を現在の2年から1年に短縮。経営の迅速性、女性取締役選任の必要性も考慮し、引き続き「監査等委員会設置会社」への移行を検討。

2024年3月期 決算概要

(2024年5月9日公表資料より抜粋)

2024年3月期決算 サマリー

2024年3月期 実績

- **売上高は、前期比653億円 (10.8%) 減収の5,426億円。**
電子部品事業において、スポット需要の消失やグループ会社での大口顧客との取引縮小に加え、**3Q以降に在庫調整の影響**が本格化。
- **営業利益は、前期比64億円 (19.9%) 減益の258億円。**
販管費削減に努めるも、売上高減少に伴う売上総利益減少が主因。
- **当期純利益は、前期比27億円 (11.8%) 減益の203億円。**
投資有価証券売却益 (14億円) や企業買収に伴う負ののれん益 (4億円) 計上。
- **会社計画に対して、売上高は若干未達も、利益面では超過達成。**

2025年3月期 見通し

- **売上前提：**エレクトロニクス関連市場は、車載向けが中心となってけん引する中長期的な成長シナリオは不変も、24/3期下期から本格化した在庫調整は当面継続、**本格的な需要回復は25/3期下期を見込む。**
- **利益前提：**長引く在庫調整に加え、賃上げなど費用増を織り込む。
- **業績予想：**以上を踏まえ、**売上高5,550億円 (2.3%増)、営業利益260億円 (0.6%増)、当期純利益180億円 (11.5%減)。**

株主還元

- **24/3期：**期末配当は、前回予想 (2023年5月11日公表) とおり1株当たり110円を**実施予定**。中間配当と合わせた**年間配当は、前期同額の1株当たり220円。**
- **25/3期：**最終利益減益予想も、**1株当たり220円を維持。**

2024年3月期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	2025/3期 業績予想 (2024年5月8日公表)	前年比
売上高	608,064	542,697	△10.8%	555,000	2.3%
売上総利益	78,514 12.9%	70,452 13.0%	△10.3%	— —	—
販売費及び一般管理費	46,265 7.6%	44,607 8.2%	△3.6%	— —	—
営業利益	32,249 5.3%	25,845 4.8%	△19.9%	26,000 4.7%	0.6%
経常利益	32,739 5.4%	25,976 4.8%	△20.7%	26,000 4.7%	0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,070 3.8%	20,345 3.7%	△11.8%	18,000 3.2%	△11.5%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	878.65 —	774.61 —	—	685.26 —	—
ROE	19.6% —	14.5% —	△5.1pt	11.5% —	△3.0pt
為替レート 円/US\$	135.47 —	144.62 —	—	145.00 —	—

(注)：1. 為替による影響額は、売上高が12,539百万円、営業利益が420百万円です。
2. 「×.×%」は、売上高対比の率を表します。

2024年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	2025/3期 業績予想 (2024年5月8日公表)	前年比
電子部品	売上高	539,342	472,583	△12.4%	482,500	2.1%
	セグメント利益	28,314 5.2%	20,887 4.4%	△26.2%	20,900 4.3%	0.1%
情報機器	売上高	43,680	44,305	1.4%	45,000	1.6%
	セグメント利益	2,449 5.6%	2,924 6.6%	19.4%	3,000 6.7%	2.6%
ソフトウェア	売上高	2,998	2,567	△14.4%	3,000	16.8%
	セグメント利益	286 9.6%	370 14.4%	29.0%	400 13.3%	8.1%
その他	売上高	22,044	23,241	5.4%	24,500	5.4%
	セグメント利益	1,101 5.0%	1,555 6.7%	41.2%	1,700 6.9%	9.3%
合計	売上高	608,064	542,697	△10.8%	555,000	2.3%
	セグメント利益	32,249 5.3%	25,845 4.8%	△19.9%	26,000 4.7%	0.6%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。

2024年3月期 会社別業績

(単位：百万円)

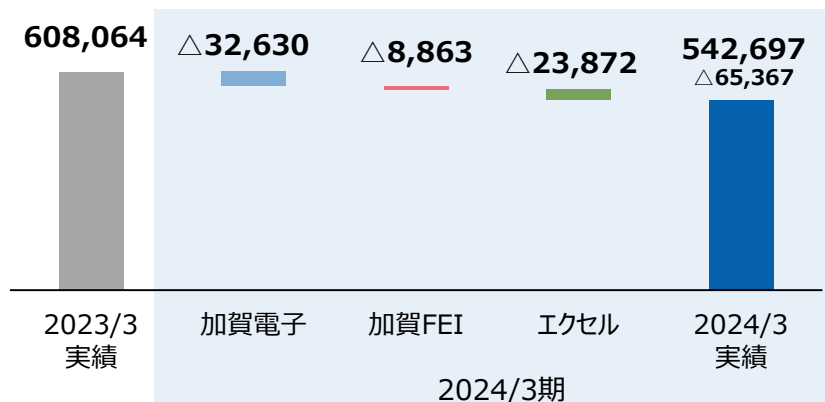
		2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 実績	前年比	前々年比
加賀電子	売上高	281,075		348,034		315,404	△9.4%	12.2%
	売上総利益	41,767	14.9%	53,123	15.3%	47,373 15.0%	△10.8%	13.4%
	営業利益	15,461	5.5%	21,899	6.3%	19,580 6.2%	△10.6%	26.6%
加賀FEI	売上高	149,455		199,548		190,684	△4.4%	27.6%
	売上総利益	14,690	9.8%	20,913	10.5%	19,218 10.1%	△8.1%	30.8%
	営業利益	3,654	2.4%	8,103	4.1%	4,413 2.3%	△45.5%	20.8%
エクセル	売上高	65,296		60,481		36,608	△39.5%	△43.9%
	売上総利益	4,247	6.5%	4,443	7.3%	3,834 10.5%	△13.7%	△9.7%
	営業利益	1,937	3.0%	2,072	3.4%	1,653 4.5%	△20.2%	△14.6%
合計	売上高	495,827		608,064		542,697	△10.8%	9.5%
	売上総利益	60,547	12.2%	78,514	12.9%	70,452 13.0%	△10.3%	16.4%
	営業利益	20,915	4.2%	32,249	5.3%	25,845 4.8%	△19.9%	23.6%

(注)：1. 各社の売上総利益および営業利益は、3社間での連結調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。

(単位：百万円)

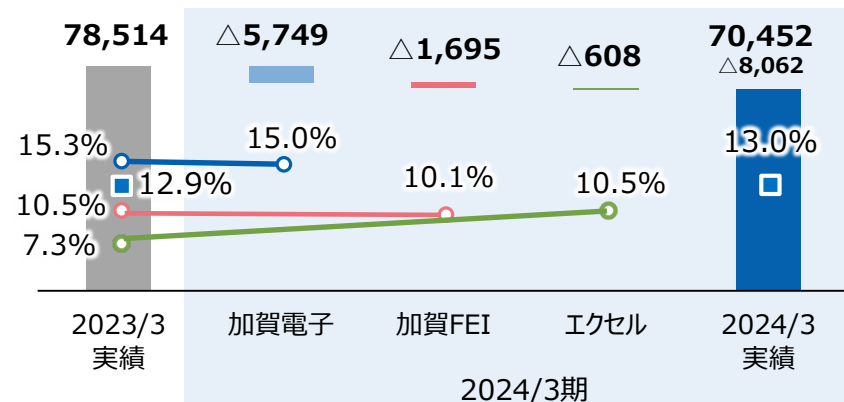
売上高

加賀電子、加賀FEIは、スポット需要消失等により減収。
エクセルは、大口顧客向け売上が減少。



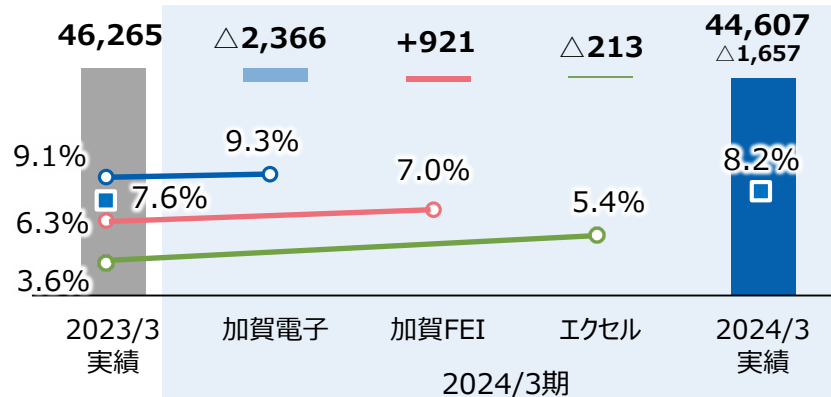
売上総利益 / 売上総利益率

3社ともに、売上高減少に伴い減益。
エクセルは、販売ミックス良化もあり利益率向上。



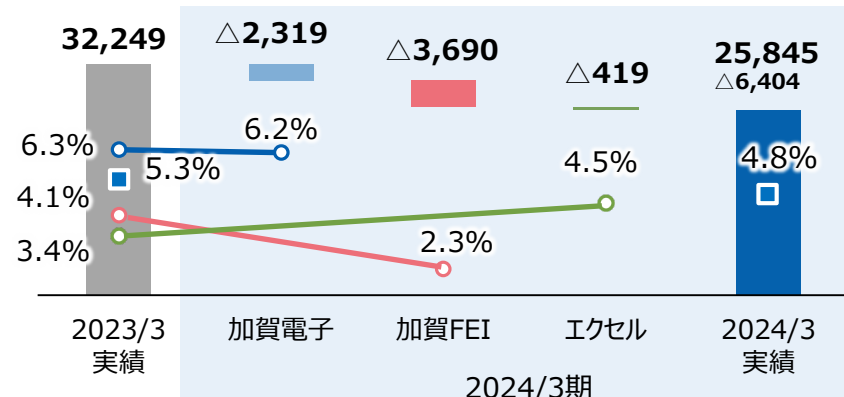
販管費 / 販管費率

加賀電子、エクセルは、販管費削減に努め減少。
加賀FEIは、本社賦課費、貸倒引当繰り入れ等により費用増。



営業利益 / 営業利益率

3社ともに減益。
エクセルは、販売ミックス良化により利益率は向上。

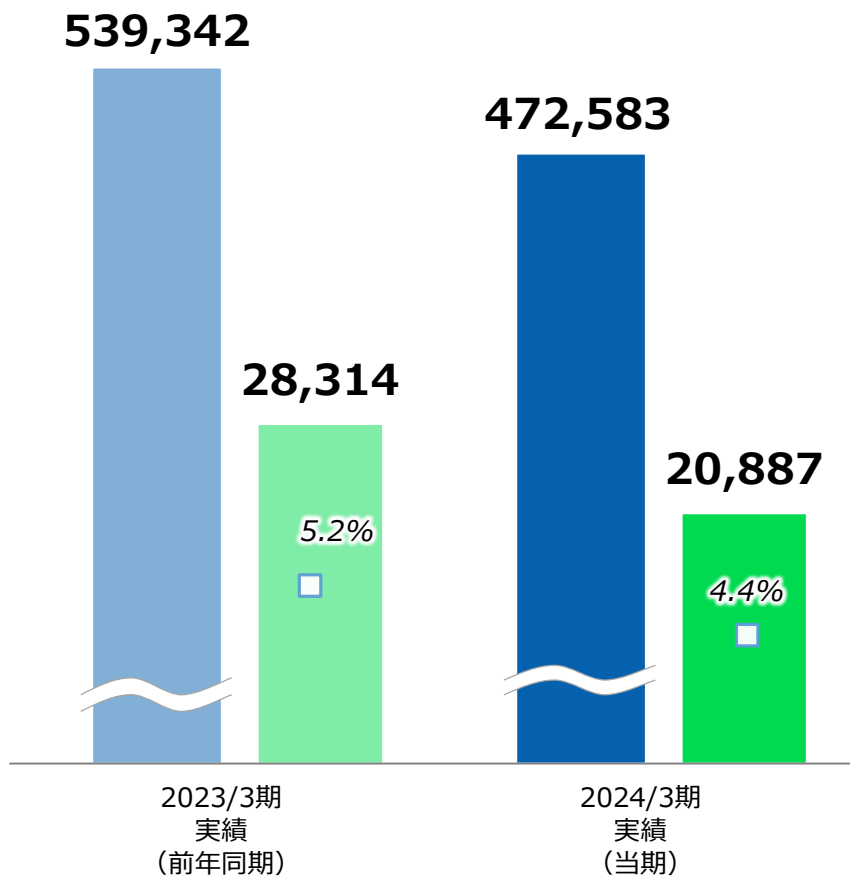


2024年3月期：電子部品事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ $\Delta 66,759$ 百万円 **12.4%減**
- セグメント利益 ▶ $\Delta 7,427$ 百万円 **26.3%減**

- ・ 部品販売ビジネスは、半導体・電子部品の供給不足緩和により、前年度まで収益寄与したスポット需要の消失、エクセルの特定大口顧客向け取引縮小に加え、3Q以降の在庫調整局面本格化の影響もあり、減収減益。
- ・ 加賀FEIにおけるSoC（System-on-Chip）製品の販売は引き続き堅調。
- ・ EMSビジネスは、車載向けは半導体・電子部品の需給改善により伸長するも、医療機器、産業機器、空調向けは主要顧客での在庫調整の影響もあり、減収減益。

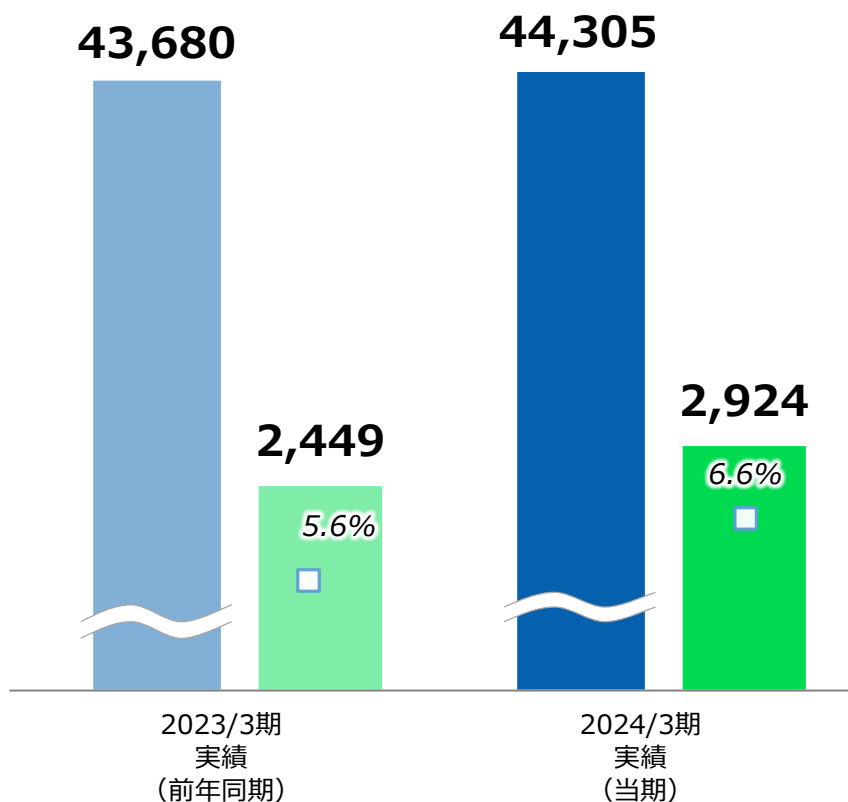


2024年3月期：情報機器事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



前年比

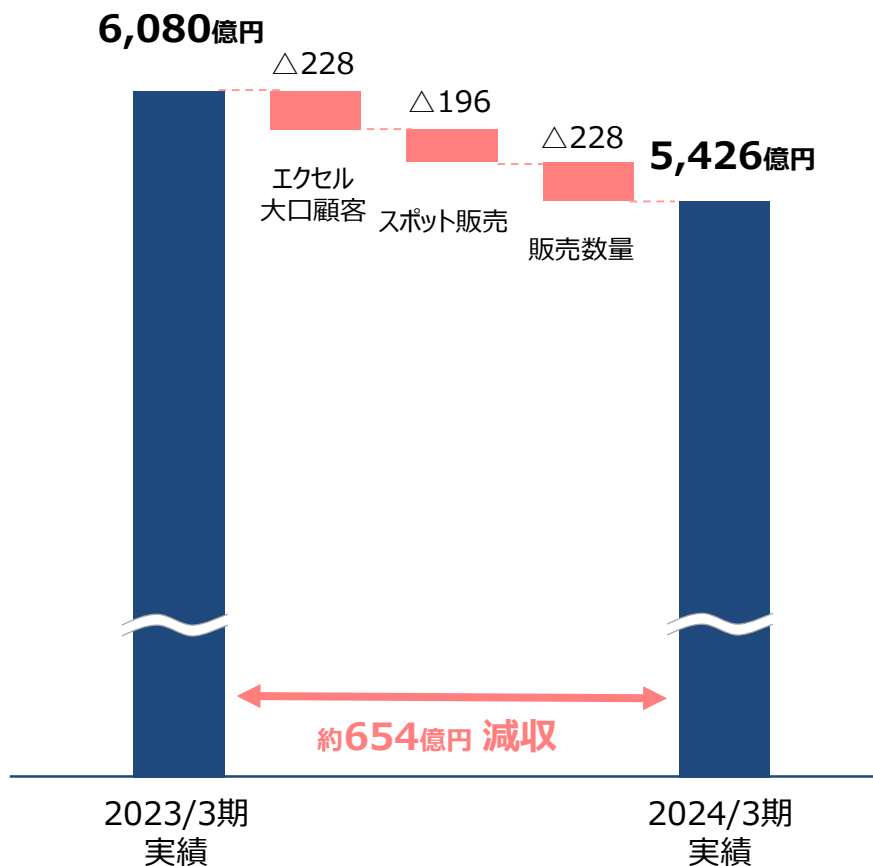
● 売上高 ▶ **+625百万円 1.4%増**
● セグメント利益 ▶ **+474百万円 19.4%増**

- ・量販店向けパソコン販売は需要低迷により苦戦するも、教育機関向けパソコン販売は、アカウント数も拡大し、順調に推移。
- ・セキュリティソフトやPC周辺製品等の販売も堅調。
- ・LED設置ビジネスは、前年度から本格展開している大口案件が寄与。



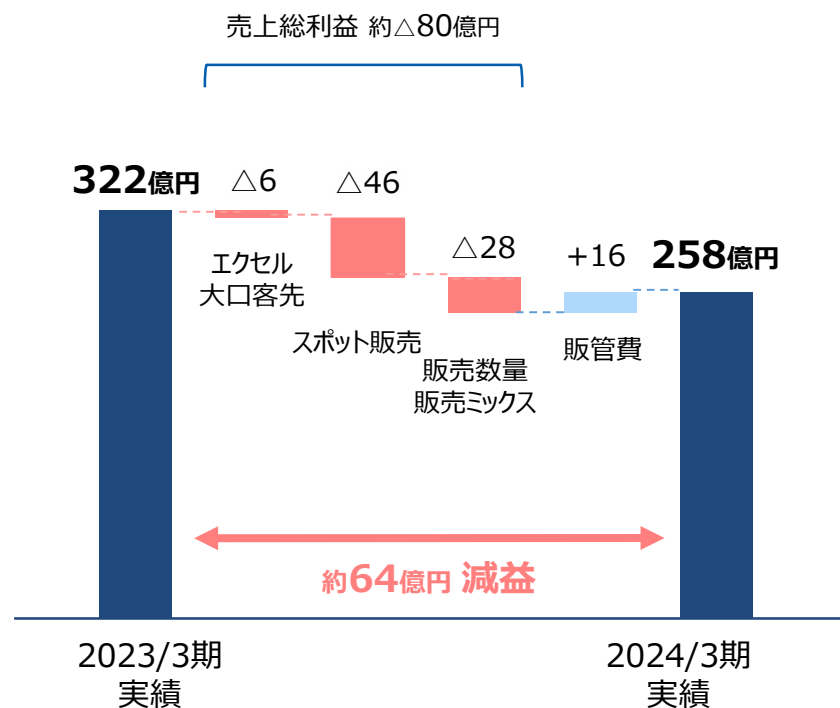
売上高

(単位：億円)



営業利益

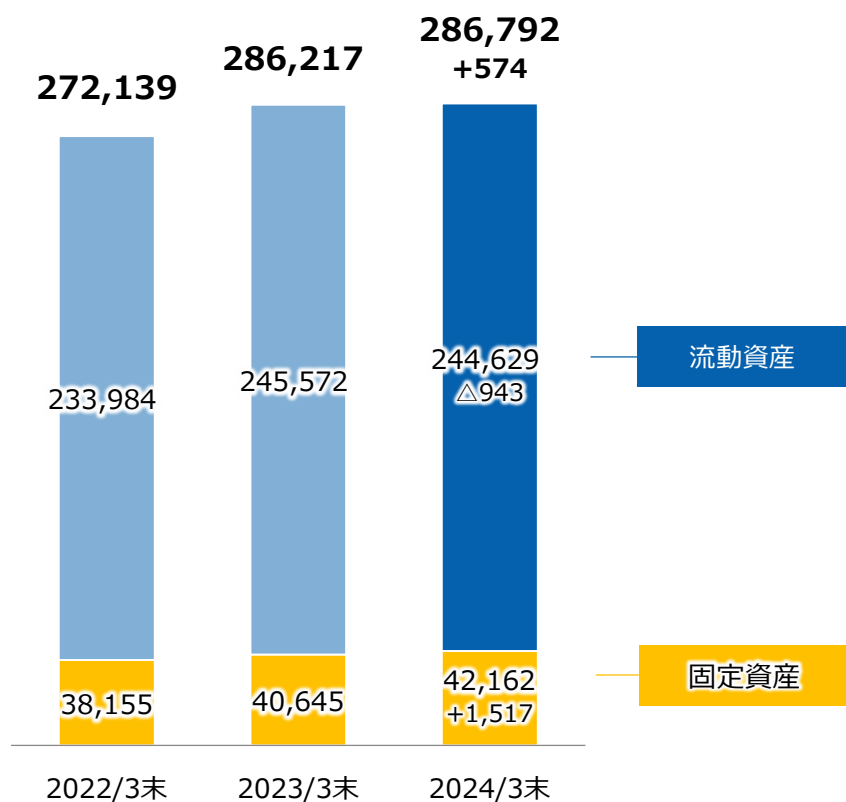
(単位：億円)



貸借対照表主要項目

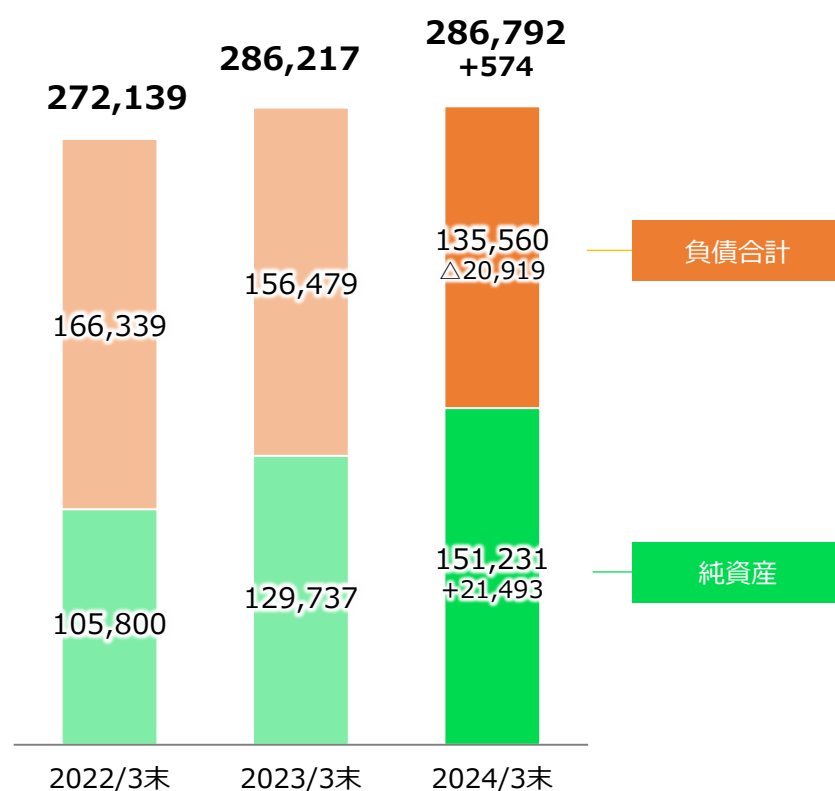
総資産

(単位：百万円)



負債・純資産

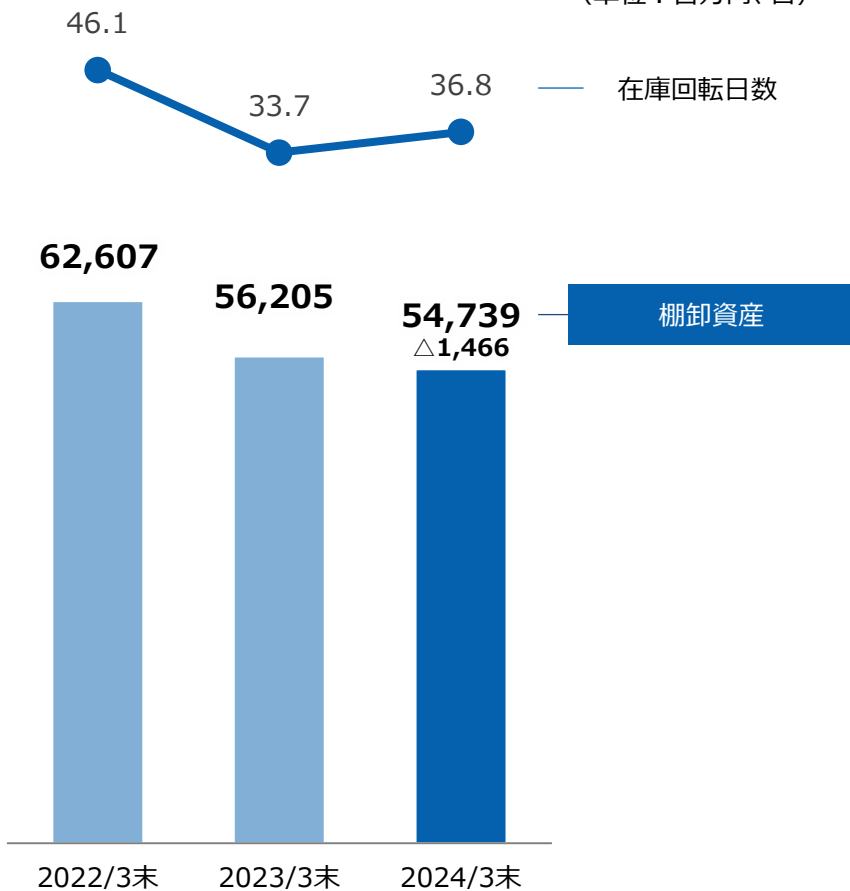
(単位：百万円)



貸借対照表主要項目

棚卸資産

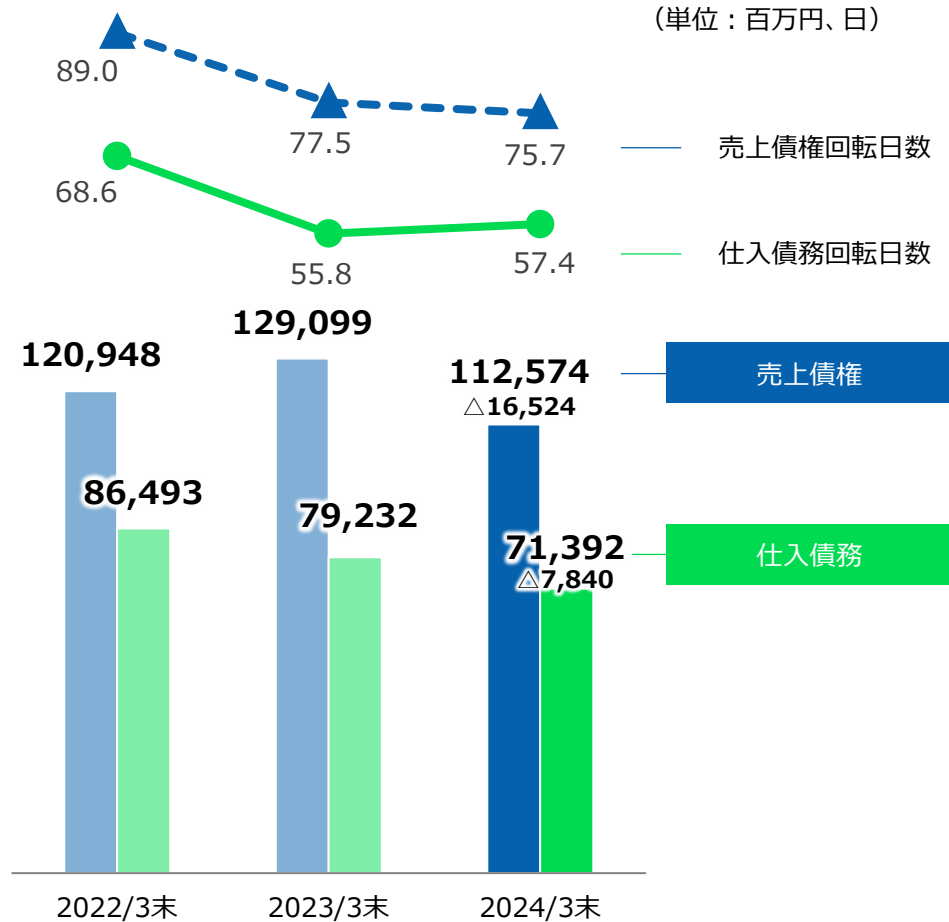
(単位：百万円、日)



(注)：在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365 (日)

売上債権・仕入債務

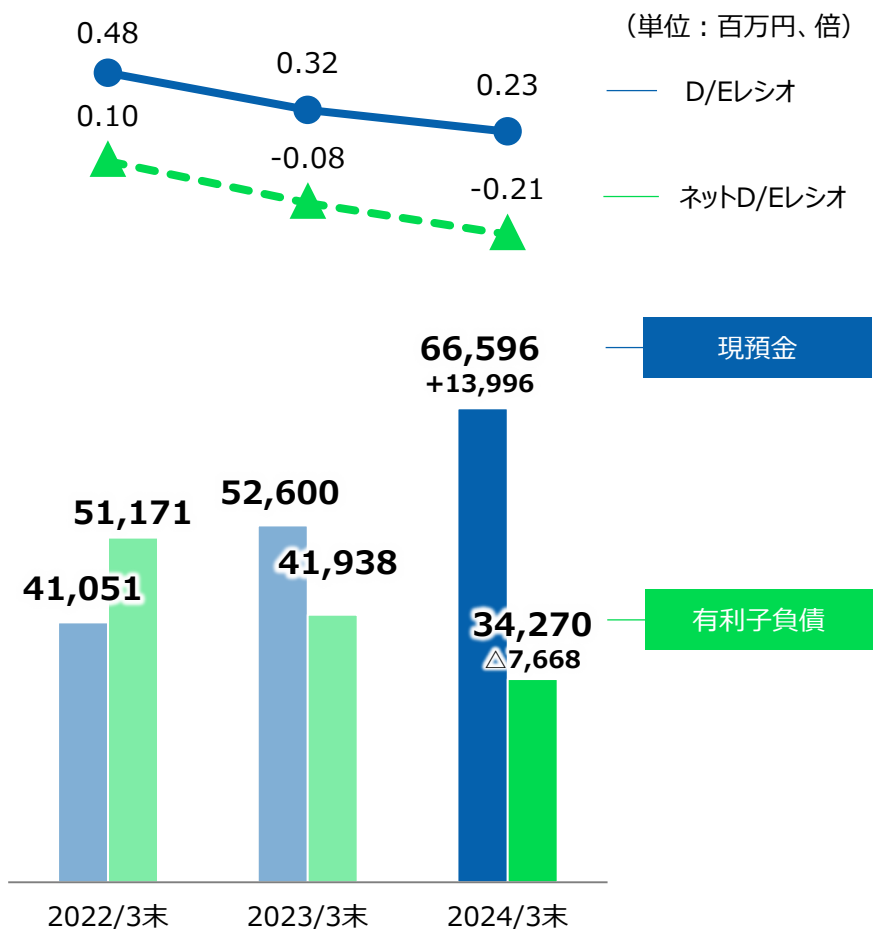
(単位：百万円、日)



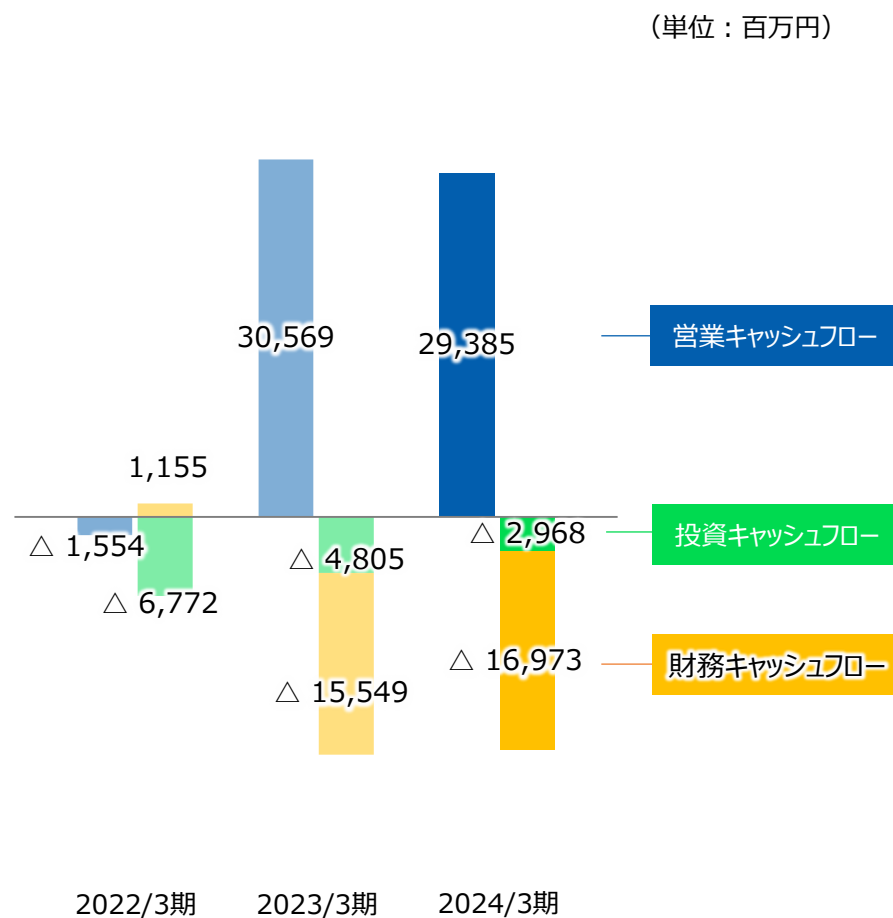
- (注)：1. 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。
 2. 支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。
 3. 売上債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (日)
 4. 仕入債務回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365 (日)

貸借対照表主要項目/キャッシュフロー

現預金・有利子負債



キャッシュフロー

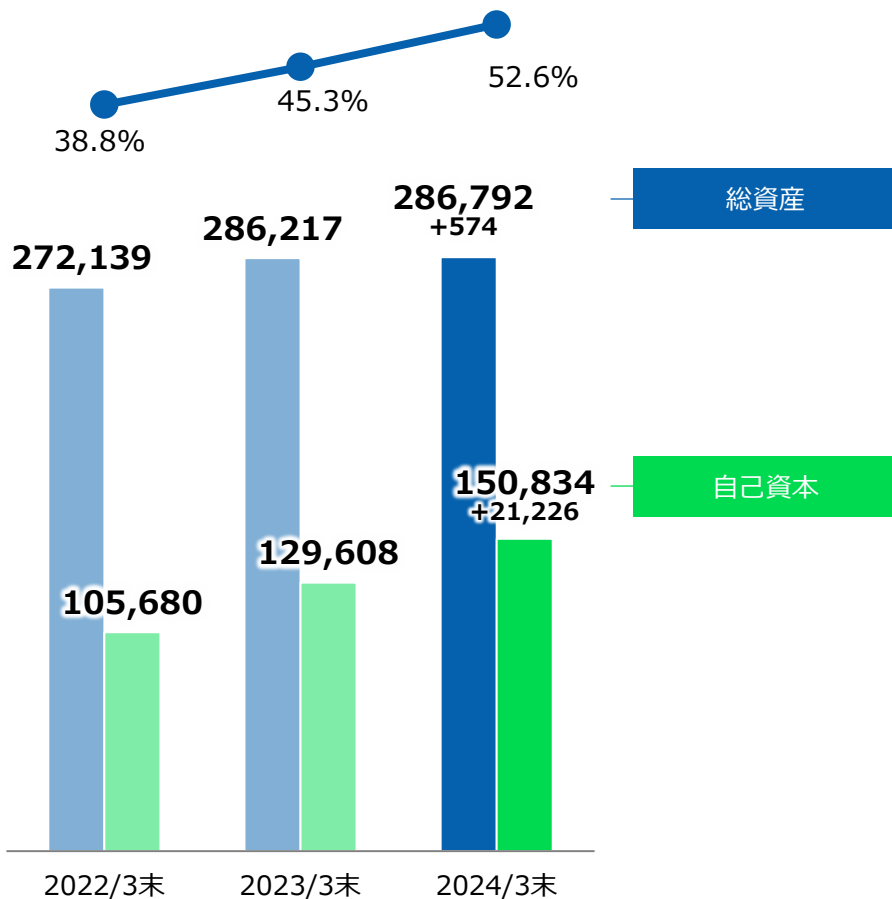


(注): 1. D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
 2. ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

経営指標：安定性・効率性

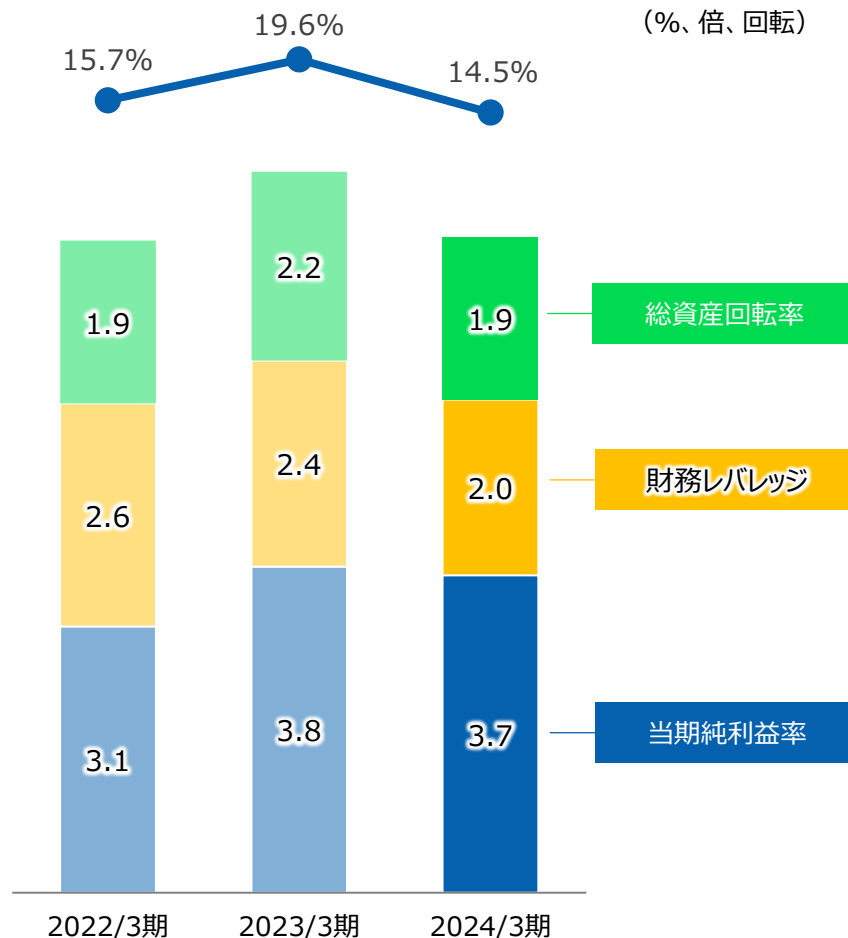
自己資本比率

(単位：百万円)



ROE（自己資本利益率）

(%、倍、回転)



(単位：百万円)

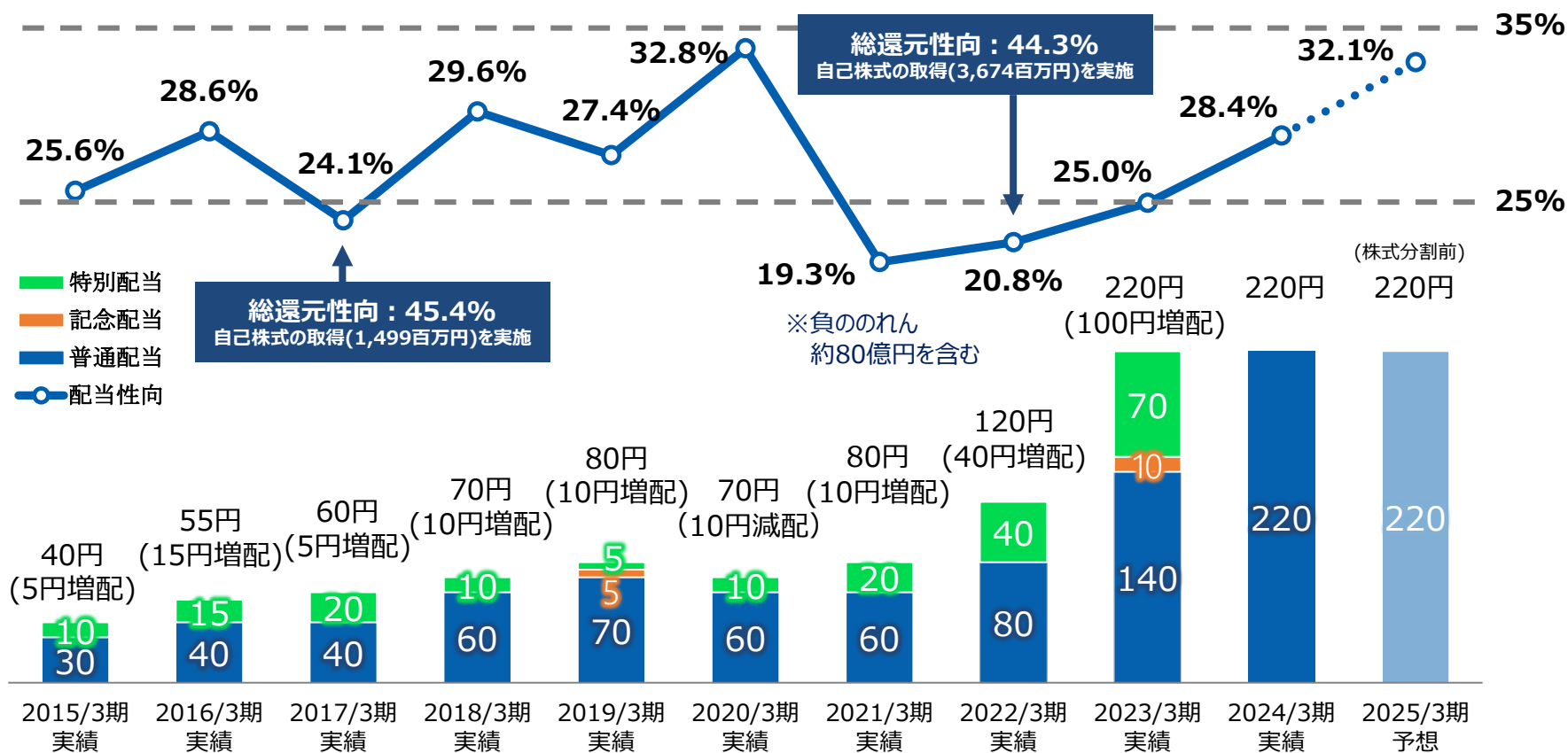
		2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前年比	前々年比
電子部品	売上高	325,830	398,783	360,743	△9.5%	10.7%
	セグメント利益	11,094 3.4%	19,475 4.9%	14,228 3.9%	△26.9%	28.2%
EMS	売上高	117,828	149,862	120,478	△19.6%	2.2%
	セグメント利益	7,356 6.2%	9,563 6.4%	7,375 6.1%	△22.9%	0.3%
CSI	売上高	39,616	43,680	44,305	1.4%	11.8%
	セグメント利益	2,085 5.3%	2,449 5.6%	2,924 6.6%	19.4%	40.2%
その他	売上高	12,552	15,739	17,170	9.1%	36.8%
	セグメント利益	255 2.0%	663 4.2%	1,208 7.0%	82.1%	372.4%
合計	売上高	495,827	608,064	542,697	△10.8%	9.5%
	セグメント利益	20,915 4.2%	32,249 5.3%	25,845 4.8%	△19.9%	23.6%

(注)：1. セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
 2. 「x. x%」は利益率を表します。

配当推移(株主還元)

利益配分に関する基本方針

- 連結配当性向25～35%を確保しつつ、**安定的な配当**を実施する。
- 将来成長に資する**事業投資・設備投資、M&A**等に活用する。
- **自己株式の取得**は、資本効率・株価等を勘案し、適切に判断する。



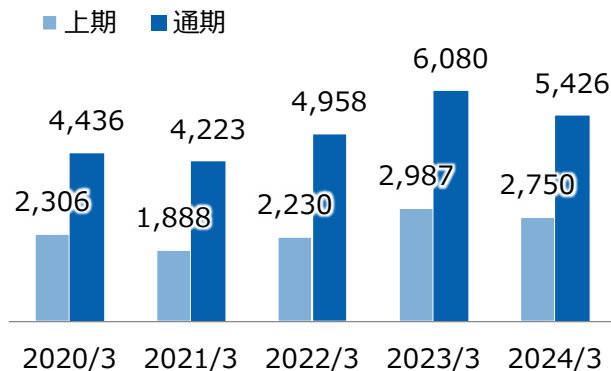
為替レート／為替感応度

	2023/3期 実績 (円)	2024/3期 実績 (円)	(参考) 1%変動による影響額 (百万円)		2025/3期 前提 (円)
			売上高	営業利益	
米国ドル	135.47	144.62	1,740	26	145.00
人民元	19.48	19.82	328	22	19.50
タイバーツ	3.84	4.11	282	18	4.00
香港ドル	17.28	18.48	177	3	18.50
ユーロ	140.97	156.80	7	0	155.00

直近5年の業績トレンド

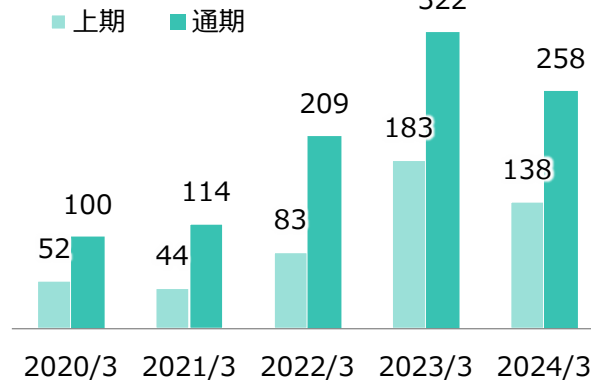
売上高

(億円)



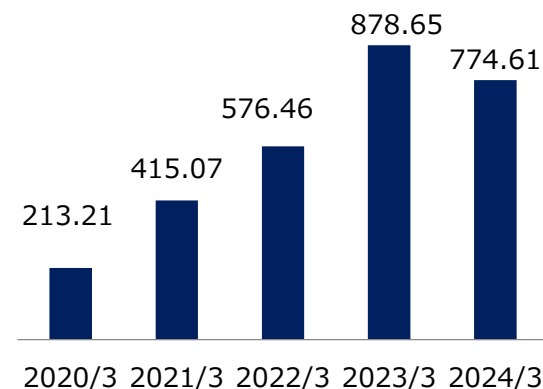
営業利益

(億円)



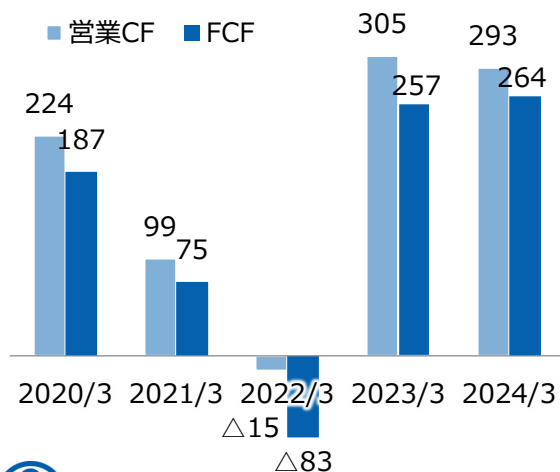
1株当たり純利益

(円)



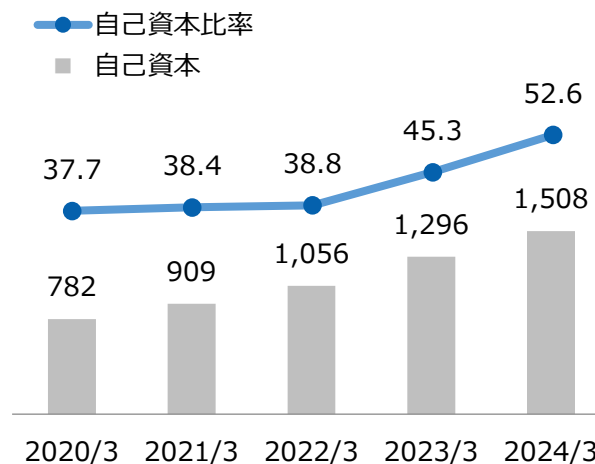
キャッシュフロー

(億円)



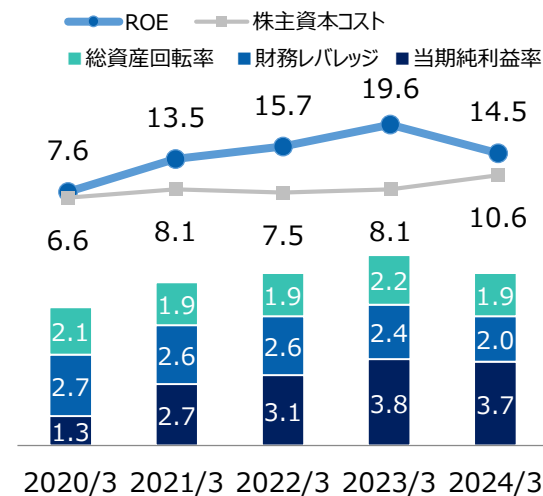
自己資本比率

(%、億円)



ROE

(%、倍、回転)



最後に

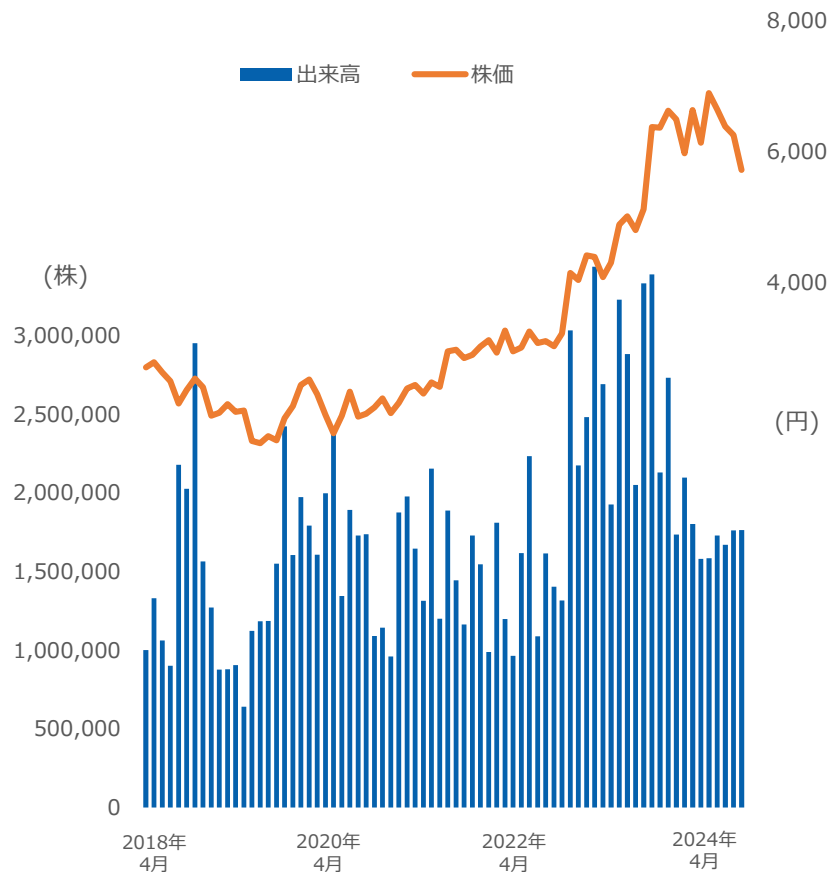
株式分割

- 2024年9月30日を基準日として、**1株につき2株の割合**をもって分割

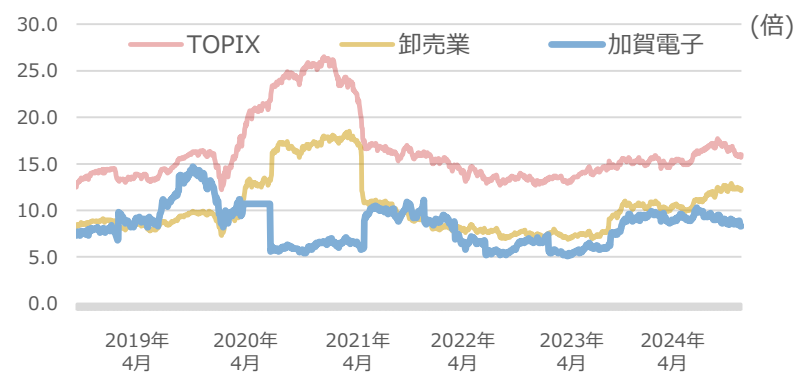
次期中期経営計画

- 2025年3月期 中間決算発表にあわせて
2026年3月期を初年度とする次期『中期経営計画』を発表予定

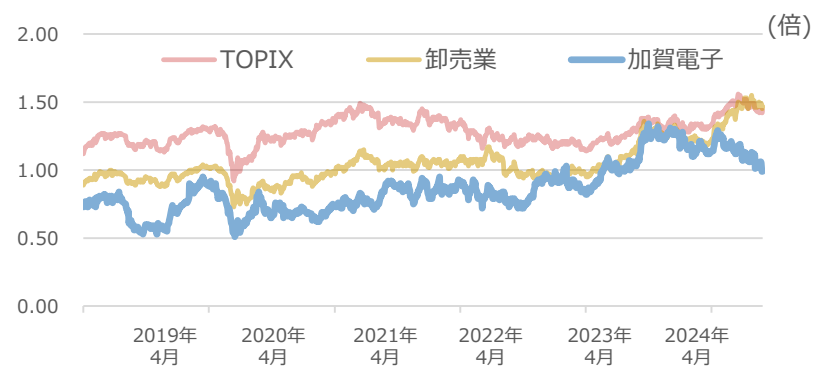
株価・出来高の推移



PERの推移



PBRの推移



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その他IR情報のご案内

● IRサイト

<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/>



● 統合レポート2023

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/ir_library/library_09.html



● 「IRメール配信サービス」へのご登録

<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html>



『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報部

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入